

リアルワールドデータを用いた関節リウマチ患者における腎機能低下リスク因子の探索

1. 研究の対象

- ① 1981年10月1日～2024年12月31日の間、高知大学医学部附属病院に入院歴および外来通院歴がある患者様
- ② 入院および外来通院時点で18歳以上であった患者様
- ③ 附属病院の血液検査で測定された、関節リウマチに関連する検査項目（抗環状シトルリン化ペプチド抗体: ACPA）が陽性であった患者様

以上①～③の条件を全て満たす患者様の診療記録を参照し、解析します。

2. 研究目的・方法

【目的】

関節リウマチは100人に約1人が経験する炎症性の病気で、関節の痛みや腫れを引き起こします。この病気は関節だけでなく、腎臓などの他の臓器にも影響を及ぼすことがあります。関節リウマチの方は腎臓の機能が低下することがあります。これには、病気そのものの影響、お薬の副作用、年齢や他の持病などが関係しています。

痛みや炎症を抑えるためによく使用される「非ステロイド性抗炎症薬」（痛み止め的一种）は、腎臓の働きに影響を与えることがあります。非ステロイド性抗炎症薬の中でも、「プロピオン酸系」と呼ばれる短時間で効く痛み止めは、他の種類よりも腎臓への負担が少ない可能性があります。また十分な証拠がありません。

私たちの研究では、当院の電子カルテに保存されているデータを対象に解析を行い、関節リウマチの方が使う痛み止めと腎臓機能の関係を調べ、どのタイプの痛み止めが腎臓への負担が少ないのか、また腎臓機能低下に関わる他の要因は何かを明らかにしたいと考えています。

【方法】

上記対象の患者様の診療記録（電子カルテシステムのデータベース上）を参照し、解析します。

【期間】

- ・研究期間：
高知大学医学部倫理委員会での承認日から2029年3月31日までを予定しています。
- ・利用又は提供を開始する予定日：2025年6月1日～

3. 研究に用いる情報の種類

情報：性別、年齢、登録病名、入院中の各種検査値など。本研究に必要な医療情報のみを抽出し、どの患者様の情報であるか直ちに判別できうる情報（氏名・住所・生年月日など）は使用いたしません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

兵頭 勇己（高知大学医学部附属医学情報センター 講師）

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2212 FAX：088-880-2214

研究責任者：

畠山 豊（高知大学医学部附属医学情報センター 教授・センター長）